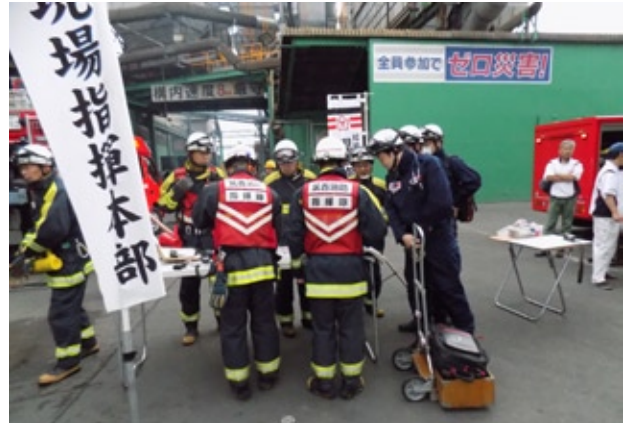


工場事故で DMAT が臨場

7月24日午前6時50分ごろ、結城市結城の工場で2回にわたって大音響とともに白煙が挙がる工場事故が発生しました。城西病院の茨城 DMAT は、この工場の爆発を確認し、午前7時15分に村田医師、津久井看護師、永井事務調整員が DMAT カーで出動準備をし、7時35分に現場到着。現場指揮本部で消防や警察と打ち合わせを行い、工場内にいた夜勤者8人の診察を行いました。城西病院の DMAT が災害・事故現場に臨場するのは、今回が初めて。近隣での大事故発生のため、自主判断で臨場しました。現場に着いた3人は、打ち合わせ後に村田医師と津久井看護師が被災者の診察に当たる一方、永井事務調整員は現場指揮本部に残り、情報収集や本部との打ち合わせ、城西病院との連絡に当たりました。

8人のうち1人は全身がすすにまみれ、やけどもしていた状況を確認。午前8時15分に城西病院に搬送しました。病院で待機していた DMAT の近藤看護師、



福島看護師、渡辺事務調整員とともに治療に当たりました。幸い、本人は自分で歩ける状態で、検査の結果も大きな外傷などはなく、ほかの7人もけがはありませんでした。

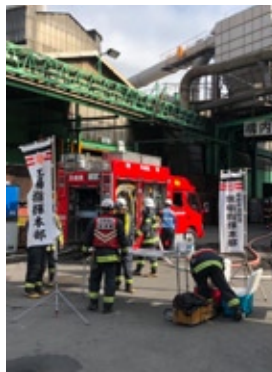
事故の起きた工場はアルミ工場で、爆発の威力はさまざま、屋根が吹き飛んで近隣の田んぼに落ちるといった状況でした。続いて起きた2度目の爆発も最初起きた爆発の影響による水蒸気爆発と工場内の水蒸気爆発とみられています。

2019年7月24日

写真提供＝結城市防災ボランティア連絡会・鈴木勇会長



事故現場から DMAT カーで城西病院に搬送



現場に到着、指揮本部で情報収集



白煙が挙がり、囲んぼに屋根材が散乱

